

成田博之「需給動向と相関が語る世界」更新日：3月25日



Seahawk Pte Ltd 最高経営責任者。ノースカロライナ大学卒業。シンガポールでの銀行で約10年間、金融商品のディーリングをした後、2006年までオーストラリアで自己資本を運用するプライベート・トレーダーとして活躍。帰国後、FX業者でディーリングやコンサルティング業務に従事。現在、運用の傍ら投資関連の企画やルール開発を行っている。アドバイザー兼トレーダー仲間として、ラリー・ウィリアムズやジョー・デイナポリ、ラルフ・ピンズから絶大な信頼を得ている。

【用語解説】

- COT レポート
 - CFTC（米国商品先物取引委員会）が毎週発表するレポートです。投機筋（スペキュレーター）や実需筋（コマーシャルズ）のポジション状況を把握することができます。
- シーズナルパターン／シーズナルトレンド
 - 季節性周期ともいいます。相場が転換するタイミングを計るテクニカル指標です。
- OBV（オン・バランス・ボリューム）
 - オン・バランスというのは「差し引く」という意味であり、OBVとは差し引き計算による出来高を表します。この指標は、1693年にJ・E・グランビルの著作により発表されました。出来高を株価上昇日の出来高と株価下降日の出来高に分け、株価上昇日の出来高は全て買い方によるものと見なし、株価下降日の出来高は全て売り方によってもたらされたものと見なします。一定基準日以降、株価上昇日の出来高は加算し、株価下降日の出来高は減算して累計していき、終値が前日と変わらないときは、前日の累計をそのままもちこします。このようにして算出された累計がOBVの数値で、この数値を線で結んでグラフ化したものがOBV線です。
- ダイバージェンス
 - ダイバージェンスは、相違や逸脱、発散などを意味する英語の「divergence」に由来し、テクニカル分析においては、相場（ローソク足）の動きとテクニカル指標（RSI、RCI、ストキャスティクスなど）の動きが逆行する（逆に動く）現象をいいます。これは、トレンドの勢いが弱まっていることを示唆し、また相場が反転する前に起こりやすい現象であり、もうすぐ今のトレンドが終了することを示唆する場合もあります。

■ NY 原油先物

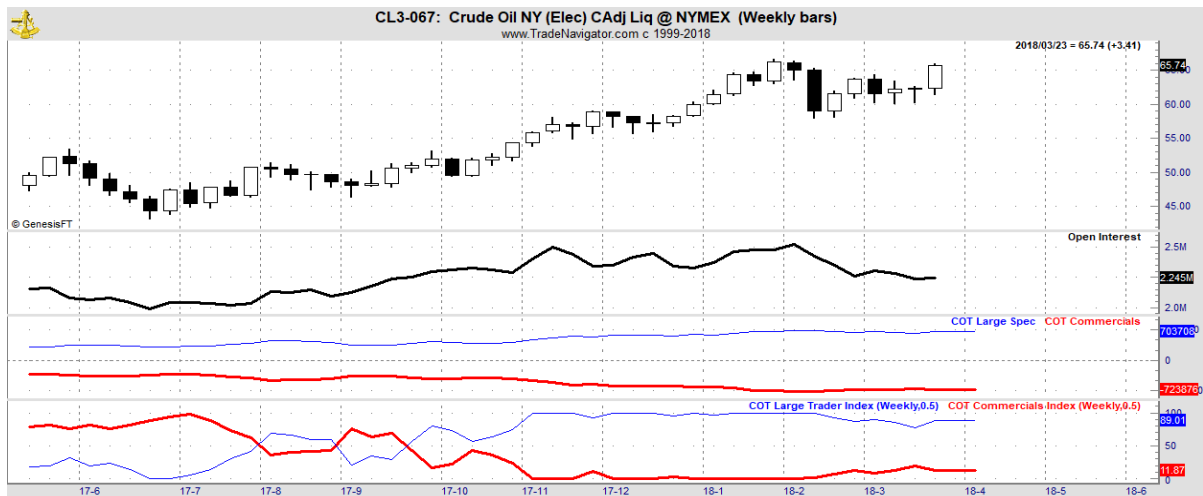


図1 NY 原油先物（週足）、取組高、COT レポート、COT レポートインデックス

先週、大口投資家のファンド筋はロングポジションを増やしています。そのため、取組高が若干、増えています。再度、66 ドルの壁を目指していくとみてよいでしょう。

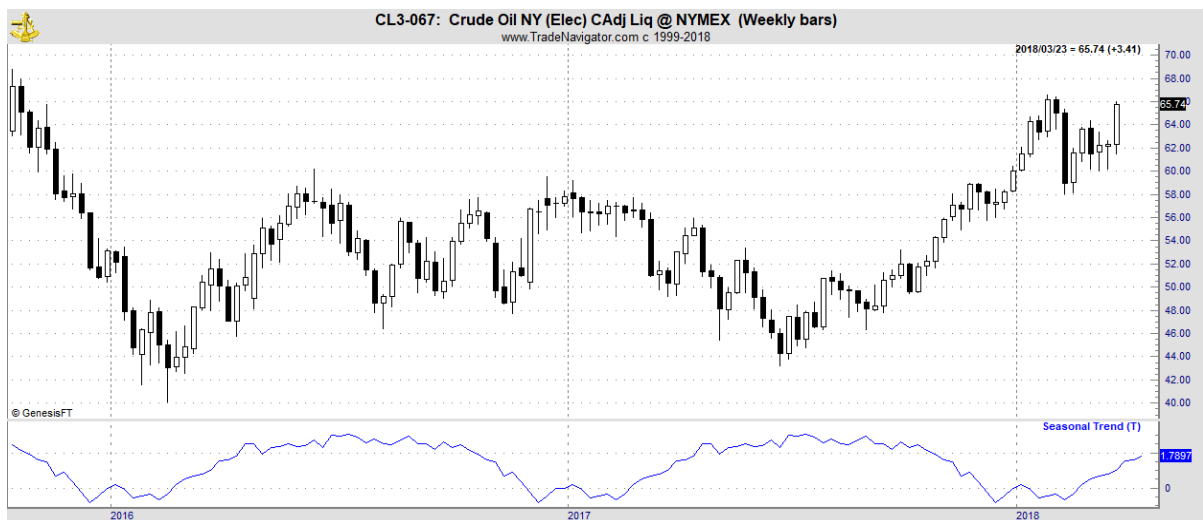


図2 NY 原油先物（週足）、シーズナルパターン

NY 原油先物 (WTI) は、今年、シーズナルパターンにそった動きをみせています。7 月初めまで堅調に推移すると思います。



図 3 NY 原油先物 (日足)、OBV

NY 原油先物のレンジ : 3 月 19 日～3 月 23 日

始値	高値	安値	終値	先週末比
62.30	66.00	61.45	65.74	5.47%

NY 原油先物市場は、想定通りに反して、66 ドルまで上げてきました。しかし、OBV は高値をつけていません。この先、66 ドルの壁を破って、66 ドルがサポートになるか注目されます。OBV をみる限り、66 ドルを超えてくると大量の売りが出てくると思います。

■ NY 金

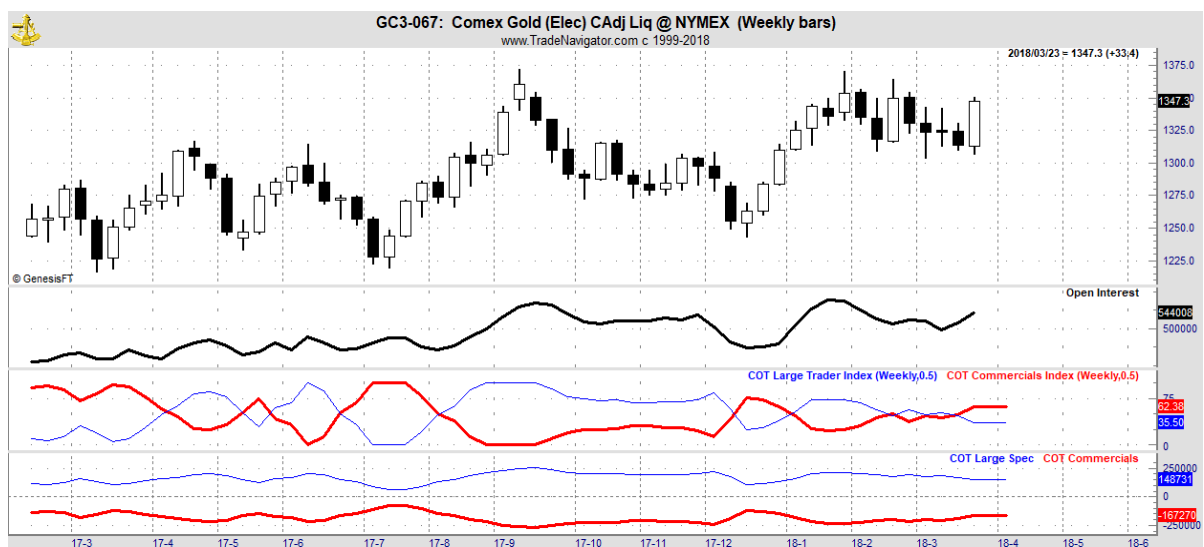


図 1 NY 金先物 (週足)、取組高、COT レポートインデックス、COT レポート

実需筋のコマーシャルズは売りヘッジのポジションを解消していました。取組高は増加しています。やはり、コマーシャルズの動きは重要です。

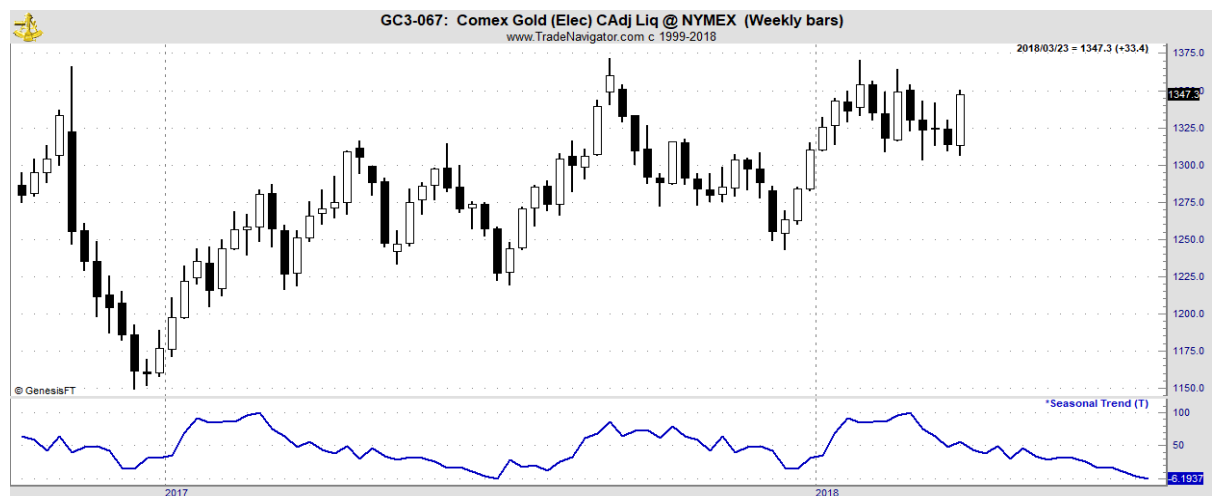


図2 NY金先物（週足）、シーズナルパターン

NY金先物は7月初めまで下降基調です。シーズナルパターンから、このまま上げることは考えにくいと思います。



図3 SaxoTraderGO：NY金（日足）、ストキャスティックス

NY金先物のレンジ：3月19日～3月23日

始値	高値	安値	終値	先週末比
1312.9	1350.4	1306.6	1347.3	2.54%

先週、NY金先物のOBVに注力して、更に大きく下げると予測していました。短期ストキャスティックスとプライスとの間にダイバージェンスが確認でき、21日に大きく反発しました。既に関われ過ぎになっています。ここから一旦押されると可能性が高いです。

■CME 日経 225 先物

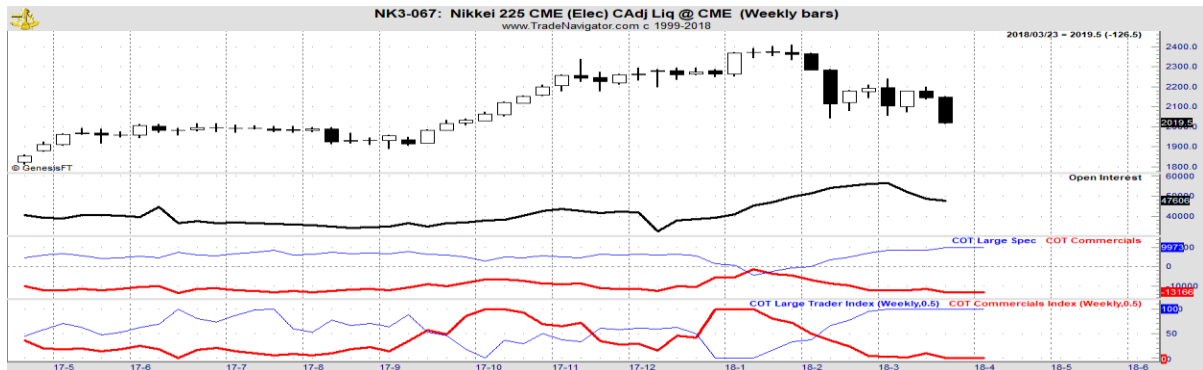


図1 CME 日経 225 先物（週足）、取組高、COT レポートインデックス、COT レポート

実需筋のコマーシャルズと大口投資家のファンド筋の過去六ヶ月間のポジション推移が 100%乖離しています。しかし、コマーシャルズの売りヘッジが大量に残っているため、まだ CME 日経 225 先物の反発は限定的になると思います。

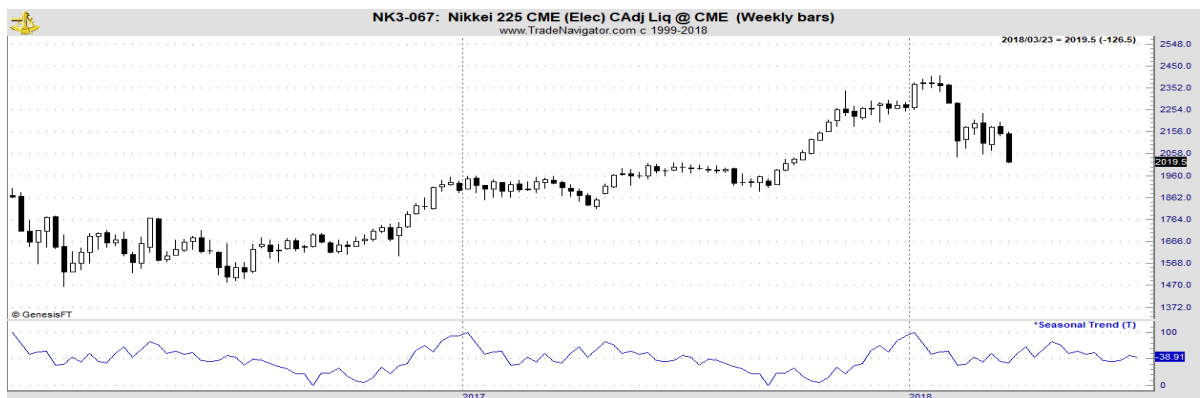


図2 CME 日経 225 先物（週足）、シーズナルパターン

CME 日経 225 先物は 3 月の最終週から 4 月末まで上昇する傾向になっています。大きく下げたことで、来週、反発する可能性があります。今年はシーズナルパターンにそった動きをみせている CME 日経 225 先物ですから、前日の高値をブレイクしてくると一気に反発するでしょう。

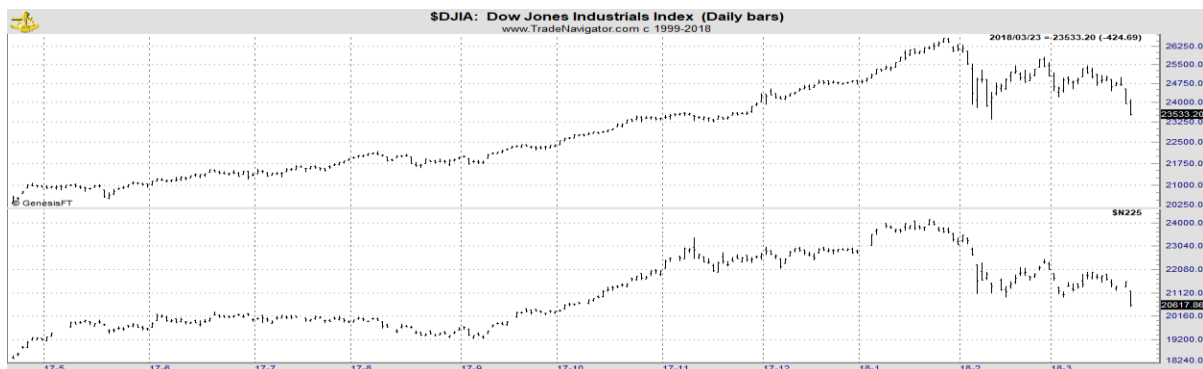


図3 ダウ平均株価指数（DJIA）、日経平均株価指数（225）

図 3 から DJIA と 225 がかなり強い順相関が確認できます。しかし、225 は 2 月の安値を割って下げてひきました。まだ、DJIA は 2 月の安値を割っていません。26 日(月)に 225 が反発すると DJIA はより強く反発する傾向が強いと裏付けられています。注目は、26 日の 225 になります。



SaxoTraderGO CME 日経 225 先物（日足）、OBV

CME 日経 225 先物のレンジ：3 月 19 日～3 月 23 日

始値	高値	安値	終値	先週末比
21435	21530	20170	20195	-5.94%

CME 日経 225 先物は、先週の安値を割って大きく金曜目下げました。しかし、OBV は新安値をつけていません。このまま、値を下げてきても OBV が新安値をつけないと、CME 日経 225 先物は大きく反発します。短期的には売られ過ぎになっているので、ここは前日の高値に大量のストップ注文がおかれていると予測しています。下降トレンドから上昇トレンドへ転換するほど強く買い戻されるとは思えませんが、ここから更に大きく下げる要因も見当たりません。

【本レポートについてのご注意】

- 本レポートは、投資判断の参考となるべき情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- お取引は、取引説明書および約款をよくお読みいただき、それらの内容をご理解のうえ、ご自身の判断と責任において行ってください。本レポートの利用により生じたいかなる損害についても、当社は責任を負いません。
- 本レポートに示した投資に関する情報は、お客様に適切なものであるとは限りません。これらはあくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。
- 本レポートは、作成時点において当社が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本レポートに記載の情報は作成時点のものであり、今後予告なしに変更することがあります。
- 本レポートの内容は法律によって保護されており、その著作権は当社または当社が契約を締結した情報提供者等に帰属します。その全部か一部かを問わず、当社または情報提供者等が無断で転用、複製、再配信、ウェブサイトへ投稿や掲載等を行うことはできません。